

東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

大森・選択専攻科目

心臓血管外科（２～９ヶ月）

1 目的と特徴G I O

このプログラムは心臓血管外科の基礎研修を目的とし、心臓血管外科が対応する全ての疾患の基礎的知識および臨床技術を身につけ、将来実践的に術前評価および手術方法の立案および周術期管理ができる事が目標である。また、患者およびコメディカルと良好なコミュニケーションが取れ、自らの考えを的確に表現し医学的な議論ができる医師の育成を主眼とする。

2 プログラム管理運営体制

東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科のスタッフ会議にて、本プログラムの管理、運営を検討する。プログラム内容や運営に問題が生じたときはこの会議で相談の上修正や変更を行う。

3 教育課程

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は２～９ヶ月である。

東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科病棟に配属される。指導医の下で患者を担当し、術前検査、手術、術後管理を行う。

3-2 到達目標

医師としての能力の自己評価ができ、心臓血管外科症例についての術前評価および手術方法の立案および周術期管理を通じ、患者およびコメディカルと良好なコミュニケーションが取れ、自らの考えを的確に表現し医学的な議論ができる。

3-2-1 行動目標 SBO

1. 心臓血管外科医に求められる必要な基本的知識・技能・態度を身につける。
2. 手術の適応、手術方法、術後管理の要点を整理・理解する。
3. 患者および家族とのより良い人間関係を確立しようと努める態度を身につける。
4. 医療メンバーと協調し円滑なチーム医療の一員となるような習慣を身につける。
5. 医療評価ができる適切な診療録を作成する能力を身につける。

3-2-2 経験目標 SBO+LS

3-2-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

1. 問診を行い、心臓血管外科的な問題点を検討する。

2. 系統的身体診察をして、所見を的確に把握する。
3. 術前一般検査(血液、生化学、胸部レントゲン、心電図、CT など)を理解する。
4. 心臓超音波検査、心血管造影、心臓カテーテル検査成績など、心疾患自体の所見を整理する。
5. 術前カンファランスに担当患者を発表し、適切な手術法を提示する。
6. 手術時の中心静脈、動脈ラインを確保する。
7. 手術術野を確保(正中・側方開胸、開腹など)する。
8. 人工心肺を準備し体外循環を始める。
9. 手術中経過・手技を良く理解する。
10. 術後の循環・呼吸管理を行う。
11. 一般的術後経過を理解できる。
12. 毎日の適切な診療録が記載できる。
13. 一般的術後検査(一般採血、心電図、胸部レントゲン、心臓超音波検査)を施行して、術後状態を把握できる。
14. 退院後記が記載できる。

3-2-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

経験すべき症状、病態

1. 心不全兆候(起座呼吸・胸水・腹水・浮腫など)
2. 心タンポナーデ
3. 胸痛
4. 補助循環、人工心肺
5. チアノーゼ・ばち状指
6. 発育不全・多汗

経験すべき疾患

1. 虚血性心疾患
2. 弁膜症疾患
3. 先天性心疾患
4. 動脈疾患(動脈瘤、動脈硬化症、動脈解離など)
5. 不整脈疾患

3-2-2-C 特定医療現場の経験

手術室で助手として手術に参加する。

- 1) 循環動態モニターの意義の理解と準備。
- 2) 助手、術者、看護師などのチームを理解する。
- 3) 人工心肺の準備、体外循環の実際を理解する。
- 4) 開心術後の循環動態の把握が出来る。

3-2-3 評価基準

- 1) 主な疾患の手術適応、手術法を理解しているか。
- 2) 実際の循環動態観察のためのモニタリングが出来、その把握が出来るか。
- 3) 術後患者の一般的経過が理解できる。
- 4) 診療記録がまとまっているか。(POMR形式)
- 5) 患者や看護師、指導医など医療チームに対しての態度はどうであったか。

以上をチーム構成員と共に評価する。

3-3 勤務時間

研修中の勤務時間、休暇、当直に関しては東邦大学医療センター大森病院研修医規則に原則的に従う。担当患者の状態によってはこの限りではない。

3-4 教育行事

1. 朝病棟回診:月曜～金曜、朝 8:15、3-4Eから、当直報告、担当患者報告。
2. 小児科合同循環器カンファレンス:水曜、午後 6:00、3号館2F心臓カテーテル室
3. 内科外科合同循環器カンファレンス: 月曜、午後 6:30～、5号館地下会議室
4. 手術症例検討会:月曜日、午後 7:30、3号館2F321会議室
5. 教授回診:木曜日、午後 4:00、3-4Eから
6. 医局会:木曜日、午後 5:00、3号館2F321会議室

3-5 指導体制

本プログラムの最終的な責任は、東邦大学医学部心臓血管外科の指導責任者にある。研修医は診療チームに配属され、指導医の下で指導を受ける。

4 研修医個別評価

プログラム修了時に、診療チームの主だった構成員による評価を参考に、基本的な診察、診療が習得されたかどうか、研修中の態度などを指導医が総合的に評価し、スタッフ会議に報告し、最終的に決定する。